

社会福祉法人 二葉保育園  
 児童養護施設 二葉学園

# 二葉だより

発信元

東京都調布市上石原2-17-7

児童養護施設 二葉学園

TEL 042-482-2578

FAX 042-480-5200

2020東京オリンピック、パラリンピックが開幕しました。新型コロナウイルス感染の拡大の状況下での開催に複雑な思いを感じています。

前回の東京オリンピックは、私は二歳で全く記憶はありません。私にとっての最初のオリンピックの記憶は、札幌冬季オリンピックです。小学校四年生の時でその記憶は鮮明です。親戚の結婚式で、その家の留守番を頼まれました。その大叔父の家は既にカラーテレビであったので、喜んで引き受けて兄と一緒にかじりついてスキー純ジャンプ九十メートル級を観ていました。今回、その時の高揚感は、（この日のために努力を重ねてきたアスリートの方々には申し訳ないのですが）残念ながらほとんどありません。今回のオリンピック、パラリンピックは子どもたちの記憶にどのようなとどめられていくのでしょうか。

学園の子どもたちは、オリンピック、パラリンピックより、「夏の学校の宿泊行事はどうなるか」「修学旅行はどうなるか」「園の夏行事はどうなるか」に興味関心が極めて強く、それらが実施されるのかどうかをとっても心配しています。昨年も学校行事、地域行事、園行事ともに中止や縮小を余儀なくされ、今も生きている子どもたちには大きな打撃、影響がありました。大人が過ごす一年と子どもは過ごす一年には大きな違いが



あります。アスリートの四年分の時間と同様の、いやそれ以上の重みと意味合いが子どもたちのその時、その時の暮らしにはあります。

昨年度から、児童養護施設の人員配置が飛躍的に手厚くなりました。一定の条件を満たしますと、(端的に言いますと)子ども六人に対して職員六人配置できる制度になりました。学園ではグループホーム八カ所ありますが、全てその制度の適用を受けることができ、大幅な人員増が見込めることになりました。施設運営は新たな段階に入つたと言えます。ますます、職員の確保とその育成、定着が今後の施設運営の課題となつていきます。子どもたちの最善の利益の保障に叶う取り組みにつなげていきたいと思えます。

今後の学園のあり方についても検討をすすめています。前述の職員体制の変化も含めて児童福祉法改正や少年法改正、東京都社会的養育推進計画等、情勢を敏感に感じ取り、一歩も二歩も先を見据えて取り組んでいかねばなりません。まずは今年度、老朽化したすみれ(調布市)、けやき(府中市)の二つのグループホームの移転計画をすすめていきます。どちらも子どもたちから要望が出ています。

この度、調布市のお計らいにより、六月下旬から職員はコロナワクチンの接種がすすめられることになりました。現在、幸い大きな副反応もなくすすめられています。もう少ししばらくの辛抱です。何とか力を合わせこの難局を乗り切りたいです。

施設長 小倉要



## コロナと二葉学園 「リモート会議の導入」

最初の緊急事態宣言から一年余りが経ちました。新型コロナウイルスの蔓延は二葉学園の運営面でも様々な変化をもたらせています。今回は会議の在り方の変化について紹介します。これまで五十名近くの全職員が毎週集まっていた職員会議は、今では各ホームと本園をリモートで繋いで実施するようになりました。始めは必要な機材も知識もなく、代表者だけで会議をする時期もありました。しかし、普段地域に分散して子どもの支援を行っているからこそ、全員が集まって会議を行うことを大切にしてきていた二葉学園にとって大きな違和感がありました。ネットワークの安定性等の問題もありましたが、踏み切れずにいましたが、必要なものが一定揃い、年明けごろからは毎週のように画面を通して職員同士が顔を合わせた会議が実施できています。

クリスマス会や卒園生を送る会といった学園全体の行事や、全体会と呼ばれる

節目に子どもたちが皆集まる会も、同じようにリモートで行っています。時折ネットワークの調子が悪く繋がらなくなることもしばしばありますが、その場合の対応も準備し、何とか対策をしながら行っています。今後を見通しても、今しばらくはリモートが欠かせない状況です。子どもたちの支援を行っていく上で職員のコミュニケーションは非常に重要ですし、子ども同士の繋がりがりも大切にしていきたいと思います。様々なできる方法を取り入れながら、コロナに負けない学園にしていきたいと思っています。

養護主任 赤瀬正樹



リモート運営会議

## コロナ禍での子どもたち

子どもたちの生活環境は、この一年で大きく変わりました。

昨年の今頃はまだ学校側も対策が追い付かず、電話連絡とHPの情報、学校によっては宿題を受け取りに時差登校があるのみで、自宅学習と毎日続く余暇(?)支援に、職員も追われる日々でした。顔を合わせた直接的な関りを大切にできた私たちにとって、この時期の状況はなにより不安で、不便なものだったと思います。今ほど学園内のネット環境も整っておらず、皆で話し合うこともできない中で、各ホームの職員の奮闘と、子どもたちの状況理解そして適応力には、本当に助けられました。

昨年後半になると、小学校でタブレットの配布があり、その管理の仕方や使い方や学び、学校行事も中止や変更が相次ぎ、職員よりも子どもたちの方が柔軟に環境に慣れていったように感じられます。高校生にもなれば、子どもによってネット環境を駆使して高校

生活を頑張ってくれているのは頼もしい限りです。一方、自立のためのアルバイトに制限がかり収入が減ること、将来に不安を抱く状況にもなりやすく、高校生は職員と共に、新たな時代での自立にまだまだ苦心しているところではあります。

子どもたちは毎朝マスクを着けて登校し、帰ったら手洗いうがい、行く先々で消毒する生活に、文句を言いつつも慣れた様子です。学校行事も対策の上実施してくれる学校が増え、少しずつ楽しみも戻ってきました。

ネット環境を整えて今できる最大限にチャレンジもしつつ、やっぱり子どもたちが心置きなく遊びに出られる日を、大勢で顔を合わせて集まれる日を、心待ちにしているこの頃です。

養護主任 松井夏子



## フオスタリング活動報告

フオスタリング機関が発足して八か月が経ちました。この間各役割で新たな取り組みも増えましたので報告させていただきます。

まずリクルート事業では、週に一度の里親制度説明会を開始しました。オンラインと会場開催を実施しており、会場開催の時には里親さんにご協力いただき、毎回体験談をお話していただいています。研修事業では、事前に研修のグループワークで共有したいことを里親さんへ聞き取り、未委託家庭に対しては次期研修についてのアンケートを実施するなど、小規模で個々のニーズに合わせた取り組みを実施しています。自立支援事業では、中高生対象の「多摩フオスタ cafe」という自立に向けた学習会を二葉学園のホールで開催。調整員と推進員の業務では、緊急で、今日の夕方から地域の児童を保護したいというニーズに対してその際、お願いできる里親宅に連絡をして調整し、児童相談所と共に里親宅に連れて行く対応をしています。半年間で十一件の一時保護委託の支

援を行いました。また、里親宅での育児支援については、二葉学園の地域支援担当の職員さんを中心に援助者として派遣する体制になり、これまでに比べ里親さんにとって利用しやすい事業になりました。今後も里親さんにとってより良い支援を実現できるよう、チーム一丸となって日々取り組みで参ります。

リクルーター

六戸 杏香奈



さとぺん



## 令和2年度寄付金報告

児童養護施設 二葉学園にいただきましたご寄付についてご報告いたします。

令和元年度寄付金については、高校生の塾費用を利用させていただいた児童は希望の大学に合格し、また、卒園する児童たちにスーツを購入させていただき送り出すことができました。皆様の温かいご支援に、職員一同、あらためて心より厚く御礼申し上げます。

今年度は児童たちの希望が多い被服費の増額を中心に、昨年度（令和2年度）いただきました総額「1, 895, 511円」の寄付金を下記のとおり使用させていただく予定です。これからも皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

・誕生日プレゼント、クリスマスプレゼントの費用	580,000円
・高校生の塾費用	224,650円
・卒園児の自立準備金	300,000円
・児童の被服費	580,000円
・児童の習い事費用	210,861円

# ホーム紹介

新年度のホームの様子、子どもの日の様子、GWの過ごし方、新入学・入園、進路支援をもとにそれぞれのホームを紹介します。

## コスモスホーム

ホーム異動もあり、幼児から高校生までの全員が新しい環境の中で新年度が始まりました。大きな洗面所に喜んで身支度を張り切る子や家の前のプランターを見つけて何を植えようかとワクワクする子もいたり。ホームの様々なところで小さな変化を見つけ、驚きながらも楽しみ子ども達の姿をよく見かけます。それぞれの年齢や得意な事が違う中でぶつかることもあり、どう解決したらよいかと苦戦する様子もありますが、ホーム目標になった『楽しい思い出を作る』ことが出来るよう、ホームのみんなと一緒に考えて行きたいと思えます。

児童指導員 尾曾佳乃

## アスターホーム

例年ならプチ部屋レクとして外へ遊びに出たり、外食をしに行ったりしていたGW！今年度は緊急事態宣言中だったため、子どもには退屈な休日の延長となってしまいました…。

そんな連休の中にも楽しさを見いだせたらと思い、アスターホームでは普段駐車場として利用しているスペースにレジャーシートを引いて、それぞれ好きなご飯を食べるプチピクニックの開催や普段では行けない公園へ遊びに出たりと出来る範囲での楽しさを子ども達と追及しました！ピクニック中近隣家庭の方に声をかけて頂く場面もあり、地域との繋がりも感じられた1日となりました。

児童指導員 犬石 美里

## さくらホーム

築3年目を迎えました。皆さまのご協力のもと、子どもたちは健康な毎日を過ごしております。日の当たる敷地をお借りした庭の畑では、野菜がぐんぐん育ちます。取れたては格段に美味しく、キュウリの一本漬けは子どもたちの夏の定番となりました。

新たな年度、「思いやりを持つこと」を目標としています。年齢幅のある環境で、個性を發揮し受け止めあうことは子どもたちの優しさをもってしても容易ではありません。

皆が笑顔で過ごせるようホーム担当一同見守ってまいりますので、今年度もよろしくお願いたします。

児童指導員 木村 若菜

## すみれホーム

今年度のすみれホームは、高校と小学校の新一年生が入学を迎えました。入学からはや2ヶ月が経ち、無遅刻無欠席で楽しく元気に登校することができています。

各家庭、高校は1名、小学校は2名の人数制限の中ではありましたが、無事に入学式を行ってもらい、ピカピカの制服とランドセルをお披露目することができました。新たな環境に緊張しつつも堂々とした姿を見せてくれました。ホームとは違う一面を見ることが出来た、素敵なお入学式でした。

児童指導員 平原 珠優

## 菜の花ホーム

今年の春、菜の花ホームでは小学校、高校と2人の入学を迎えました。

小学生は黄色い帽子に黄色いカバーのランドセルをまだまだ小さい背中にしょって。高校生は新しい制服を嬉しそうに着て慣れないローファーを履いて。

小学生の目標は「お友達をたくさん作ってたくさん遊ぶ」。高校生の目標は「夢に向かって、自立に向けて頑張る」と希望にあふれたスタートを切る事が出来ています。この希望がかなえられるよう、学校に楽しく迎えるよう私たちは他の子も含めて、精一杯の支援をしていくのみだと思っています。

児童指導員 池田 麻由

## 屋久杉ホーム

“自立支援”を看板に掲げている屋久杉は、ほとんどが学園から社会へと巣立っていく子どもばかりです。4月1日、「今年は自分との向き合いです。正直、しんどいです。」と部屋会で話をしたように毎日来年の4月からどう暮らしていこうか、との話が日常的に出てきています。何をしたら良いか分からないと言って頭を抱える子ども、何とかできるでしょと楽観している子ども、計り知れないほどの不安から様々な表現が出てきています。少しでも“不安”が“ワクワク”に変換できるよう、一緒に準備のお手伝いが出来たらとワクワクしています。

児童指導員 玉井 里奈

### ひまわりホーム

今年度からひまわりホームは高齢女子4名での生活に変更になっています。そのため子どもの日もアルバイトなどで人数が揃わず、少し寂しいものになってしまいました。それでもひなまつりケーキを子どもたちと一緒に作って、ささやかながらお祝いをすることが出来ました。このひなまつりケーキのように、カラフルで彩りのある生活をみんなが送ることが出来るよう、大人も子どもも、気持ちを新たに頑張っていければと思います。

児童指導員 油木 鉄兵

### けやきホーム

鯉のぼりを飾りました。吹き流し、真鯉、緋鯉、子鯉と毎年見ているのですが、家族の形の多様さを話し始め、自分の将来の家についても教えてくれました。けやきホームでは毎年、しょうぶ湯をやっています。しょうぶを一緒に用意し、意味を説明してから浴槽に入れているのですが、毎年誰かが「雑草を入れたの誰!？」と風呂場から大声で叫んでいるのが聞こえます。「それ雑草じゃなくて菖蒲って言うの」としょうぶ湯の説明する年長児の姿を見て微笑ましく感じます。子どもの日。万歳!!

児童指導員 遠藤 敦子

### あじさいホーム

4月、あじさいホームは元気いっぱいな声が響き渡りながら新年度のスタートを切りました。例年多くの卒園生が巣立っていくあじさいホームで「次は自分か!」と気合を入れている子、「学校に休まず行く!」と誓いを立てた子、一人ひとりが目標新たに進んでいこうとする姿が見られました。

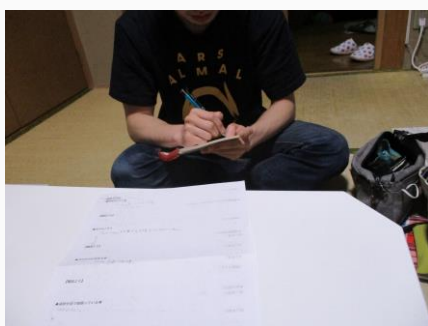
“互いのプライバシーを尊重し思いやりを持てるホームにしよう”、今年のホーム目標の一つです。それぞれの目標に向かいながらも、時には手をとりあって助け合いができるホームをみんなで作り上げていけたらと思っています。 児童指導員 廣瀬 彩香

### アイリスホーム

今年のゴールデンウィークは、新型コロナウイルスの影響で外出することができませんでした。そんな中、ホームの中で子どもたちと何か出来る事はないかと考えました。結果、ホームで縁日ごっこを行うことになりました! やきそばや、フランクフルト、フライドポテトやチョコバナナなど、縁日メニューを食べました。また、射的やヨーヨー釣りでは、大人も一緒になって楽しみました。

アイリスホームは中高生男子のホームですが、年齢が高いからこそホームの装飾など準備にも力をいれ、コロナ禍の状況でも全力で楽しめるよう工夫して過ごしました。

児童指導員 村上 青葉



屋久杉ホーム  
卒園に向けて計画中



アスターホーム  
子どもと公園



ひまわりホーム  
子どもの日メニュー



アイリスホーム  
お祭りごっこ

## 新任職員紹介

### アンケート方式で紹介させていただきます！！

- ①名前 ②所属先 ③これでナンバーワンを目指します！  
④好きな言葉 ⑤皆さんへ一言



#### ①寺尾 春夏

- ②ひまわりホーム  
③無理しすぎないこと  
④最近海外の人が言っている言葉が好きです。いっぱいあって挙げられないのですが、名言というよりは日常の中での言葉が好きです。  
⑤まずは、いろんなことに挑戦してみたいと思います。宜しくお願いします。

#### ①志村 優月

- ②あじさいホーム  
③体力と笑顔と思いやり！  
④なんくるないさ⇒生きていけばなんとかなる！  
⑤まだまだ未熟な部分がたくさんある私ですが、日々子どもとの時間を大切に、たくさんを学んでいきたいです。ご指導のほど、どうぞよろしくお願いいたします！

#### ①岩本 奈保美

- ②屋久杉ホーム  
③へこたれなさ  
④一生懸命  
⑤こてこての関西弁で話しますが、誠実に頑張っていますので宜しくお願いします。

#### ①田淵 由希子

- ②本園  
③よく笑うこと  
④なんとかなる  
⑤昨年11月に入職しました。宜しくお願い致します。

#### ①曾根 祐人

- ②コスモスホーム  
③料理の腕、磨きます！  
④大丈夫  
⑤新任職員の中で最年長ですが、どうぞお手柔らかにお願いします！

#### ①佐藤 溪

- ②あじさいホーム  
③体力！勤務に穴を空けないよう頑張ります！  
④七転び八起き  
⑤未熟ではありますが皆さんに追いつけるよう精一杯頑張ります！

#### ①青木 貴志

- ②フォスターリング機関  
③ナンバーワンにならなくても良いという思いの強さがナンバーワンです  
④下手くその上級者への道のりは己が下手さを知りて一歩目  
⑤ハツラツとした若い勢いはないですが、40代の味を存分に活かしていきたいと思えます。宜しくお願いします。

#### ①関澤 明絵

- ②アイリスホーム  
③ゆったりとした空気  
④どうせやるなら楽しく  
⑤未熟な部分も多いですが、皆さんと共に学んで行けたらと思っております。また自分が関わる中で、皆さんが少しでも明るくその方らしく過ごせるお手伝いができれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします！

#### ①元井 隆蔵

- ②アスターホーム  
③運転を頑張ります！  
④ありがとう  
⑤新任職員では一番年下ですが精一杯頑張ります。宜しくお願いします。

#### ①櫻井 和果

- ②すみれホーム  
③笑顔と元気！  
④向上心  
⑤わからないことばかりで不安もたくさんありますが、子どもたちと一緒に成長したいと思っています。宜しくお願いします！

#### ①倉持 真希

- ②菜の花ホーム  
③元気！  
④強請るな、勝ち取れ、さすれば与えられん。  
⑤日々驚きや発見、気付きの連続であっという間の毎日ですが、初心を忘れず精進したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

たくさん新任職員を迎え、今後もより一層チームワークを大切に子どもの支援に努めてまいります！！

## 児童会紹介

児童会と言えば、普段別々に生活している同年代の児童が集まって話ができる、意見を出し合える大切な場です。しかし、昨年度はコロナウイルスの影響で「集まれないのではないか?」「やめた方がいいのではないか?」と各責任者と、会議とで話し合いを重ねる事態になりました。結果的に、換気、アルコール消毒、衣服の着替え...など万全の対策をしながらなんとか実施することができました。今年度も大きく状況は変わりません。それでも、二葉学園でよりよく生活していくために、子どもたちの意見表明の場、学習の場をしっかりと提供できるよう試行錯誤をしながら実施していきたいと思っています。

保育士 池田 麻由

### 幼児の会

今年の児童会はコロナ禍でのスタートになりました。この状況下でどうすれば安全に取り組んでいけるのかを考えながら子ども達の生活への繋げられるような内容をと考えました。そこで『大切にする』をテーマに活動を行いました。ものを大切にすること、自分・相手を大切にすること、気持ちを大切にすることなど日常生活の場面や自分の物や自分を紹介することを通し、相手の事を知る事、気持ちを考える事、大切にするにはどうしたら良いかなどをみんなで一緒に考えていき、子ども達の様々な発見がみられました 児相指導員 宮本 美希

### 小学校低学年の会

2年間小低会の責任者をしてきましたが、毎年感じることは「とにかく元気」ということです。活動前からいろいろな話で盛り上がり、その勢いそのまま活動に入るので終始、活気に溢れています。昨年度はコロナ禍ということで「聴く」ことに重点を置いて活動を行いました。コロナ対策のためいつもとは違った型の活動でしたが、子どもたちの協力もあり、やりにくさを感じることもなく全活動を行うことができました。

今だからこそ、子どもたちの力を感じる機会が増えた気がします。みんなの“元気”と日々の“換気”で今を乗り越えていきたいです。

児童指導員 河内 建太

### 小学校高学年会

リーダーシップを発揮し皆をまとめてくれる、しっかりと手を挙げ自分の意見を発表してくれる、活動が始まると急に真剣な表情になって取り組む。だんだん大人になって行く小高会の子どもたちは、同世代の仲間と共に認め合い競い合うことで、他人を理解し、自分を理解していきます。小高会の活動では、性教育はより専門的に大人になるための準備として男女の違いを、意見表明では他者の意見に耳を傾けながら自分の意見をどのように伝えるかを学び、大人も子供も一緒になって成長するそんな活動を目指して行きたいと考えています。

児童指導員 渡邊 洋暉

### 中学生会

昨年度は、コロナ禍で学園全体の集まりもなく、中学生同士でもお互いの顔を知らない子も多くいました。そのため、自己紹介冊子を作成し、会えないなかでも、共に二葉学園で生活している同世代の子どものことをお互いに知る機会をつくりました。中学生になると思春期に入り、中学生会で集まってもお互い照れくさく、それぞれ絶妙な距離感でいることも多いです。しかし、それも成長した姿だなと微笑ましく感じます。今年もまだまだコロナの影響はありますが、出来る限り、同世代の子どもたちが顔を合わせる機会をもつことができたらいいなと思っています。

保育士 山上 ななえ

### 高校生会

コロナ禍の前代未聞な情勢の中、昨年度も高校生会を開催しました。例年であれば、学園内での活動にプラスし、他施設との交流もありましたがそれも実現できず…。様々な制約が生じましたが、子ども達から活動内容の希望を募り、子どもたちの自発性にも目を向けた1年となりました。また、卒園後に参加する機会も増えるであろう冠婚葬祭について学習、特に結婚式に臨むにあたっての服装について考える際には個々の価値観を交えながらたくさんの意見が出ました。他者の前で堂々と自身の意見を述べられることを自信とし、今後に生かしてほしいと思っています。

児童指導員 日下部 剛史

二葉学園では、養護の目的を達成するためにご援助を頂いて、より子どもたちの成長をはかるための賛助会を構成して、養護の状況をご報告しながら仕事を進めております。

皆様のご協力とご紹介をお願いいたします。

年会費 一口 1000円

お申し込み先

東京都調布市上石原2-17-7

児童養護施設 二葉学園

TEL 042-482-2578

FAX 042-480-5200

郵便振替 00130-4-47665

毎年報告しています決  
済報告に関しましては、  
社会福祉法人 二葉  
保育園のホームページを  
ご覧ください。  
<http://www.futabayuka.or.jp/>

賛助会員・御支援者

御芳名

(敬称略)

秋葉義孝 秋葉宏子 厚朴修 辻久恵 秋輪和幸 石森康雄 坂倉綾子 野地隆夫 新井美津子 岡本光一 岡本文子  
 ぱていすりーど・あん 仙川教会子ども教会 日本鏡餅組合 子ども地球基金 (財)登戸学寮寮生一同  
 志賀勝子 網代正孝 斉藤友子 多胡彬 大橋章人 大橋能里子 桐谷重毅 橋本知 福島穆 岡安泰英 岡安珠子  
 高山直人 安納里恵 ちようふ子どもネット青少年ステーション 加幸男 大河原幸子 関沼幸通 (有)柴田商店 柴田明  
 ヤング理髪店 永幡紀明 上石原二丁目自治会さくら会 松岡浩 松岡和子 徳井美千代 宮田康成  
 調布駅前パソコンサナリー 多田京子 東京都蒟蒻共同組合 東映(株)テレビ 東中野教会 牧操子  
 高橋清一 小松幾世 有賀芳子 大新電気工業(株) 武藤修明 原田利裕 堀本縣治 メガガイア調布 田辺一男  
 加藤実三 中山正雄 藤澤晴子 (株)ドリームホーム 増岡源吾 B,Rサーティーワンアイス(株) 牧野信也 成田和子  
 千賀ひろみ 舟久保由紀子 食肉生活衛生同業組合 坂本悠紀子 公益財団法人毎日新聞東京社会事業団 阿部陽子  
 折茂伸満 フードバンク調布 大河内義貴 渡邊幸一郎 萩生田敏二 (有)ダスカジャパンクアウテモック 齋藤隆夫  
 染地地域福祉センター (株)神戸屋 レストラン 作左部麻希 上野まり子 西光庵 清永道也 清永春美  
 府中市主任児童委員会一同 (株)プレナス (社)東京馬主協会 (有)布田屋 掛川亜季 調布市社会福祉協議会 園武友  
 公益財団法人資生堂社会福祉事業財団 鈴木洋 藤田奈巳 那須史子 宮川千春 関根裕美 柳原園子 田中秋男  
 長澤康浩 徳富善子 泉水洋祐 特定非営利活動法人日本チャリティ活動支援協会 ゴールドマン・サククス証券(株)  
 (株)NUK建設設計事務所 一般社団法人東京文具工業連盟 調布市遊技場組合 大島紀子 吉澤貞雄 吉澤治代  
 アンダーツリー東京キコナー府中店 フィリップモリスジャパン(株) セカンドハーベスト・ジャパン 池田守彦  
 中嶋勝夫 松浦幸子 NPO法人ちようふ子どもネット 宇山みえ子 コストコホールセールジャパン多摩境倉庫店  
 (株)京王閣 東京調布ライオンズクラブ 渡辺チイ 清水裕子 株式会社ガイア 足立書子 武田康男  
 角瀬敬子 島田圭子 小林明信 調布WAT 渡辺喜信 渡辺千重子 滝沢友紀 村岡弘 村岡えり子 村岡海斗  
 府中子ども家庭支援センターたち 一般社団法人東京都信用組合協会 調布・狛江地区更生保護女性会  
 やきとり大吉糸川 (株)オリエントコーポレーション ワールドメイト 小林肇 関口隆雄 白百合女子大学  
 公益財団法人毎日新聞東京社会事業団 中央共同募金会・アサヒ飲料(株) 日本再生(株)代表取締役鷺見健司 西村文子  
 健全育成第三地区委員会有志一同 小倉勇 (株)日本M&Aセンター代表取締役社長三宅卓 柳俊一郎  
 寺澤玲子 廣瀬剛 河内進一郎 榎本春久 フードフォーキッズプロジェクト 全国シヤンメリー協同組合 森本裕美  
 塩野梨沙 株式会社日本出版社販売 松浦幸子 富士天然水蔵元・不二 高田健吾 佐藤昭 調布市フードドライブ  
 大塚商会(株) アメリカンスクールインジャパン NPO法人プラネットカナル (株)サントリーホールディングス  
 大島秀治 ボランティエグループ・すいとびい 奥野宣子 中村敏枝 向當稔 (株)サントリ K&Kアーダブレイン  
 高橋一弘 菊池邦夫 西村文子 狛江市狛江友Vビーチボールクラブ 青松佐枝 一般財団法人日本児童養護施設財団  
 ドミノピザ調布小島町店 ジェイ・ワーク(株) 調布パルコフードドライブ 鈴木博人 荒井富子 高木久美 大木尚美  
 匿名の方

※皆様からのご支援ご援助、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

令和三年七月